

木のグランドフェアと北海道こども木工作品 コンクール受賞作品の紹介

キーワード: イベント, ウッドサマーフェスティバル, 普及

林産試験場では、木材の良さを知って、より木材と親しんで頂けるように一般市民を対象とした様々な普及活動を行っています。中でも「木のグランドフェア」は、今年で第9回目を迎えた大きなイベントです。ここでは、木のグランドフェアと、その中の一つである北海道こども木工作品コンクールの受賞作品を中心に紹介します。

木のグランドフェア

木のグランドフェアは、林産試験場と（社）北海道林産技術普及協会が共催し、下記の六つの行事で構成しています。今年は7月29日～8月20日に行い、期間中は約1万5千人に参加頂きました。

ウッドサマーフェスティバル（7月29～30日）

土、日曜日の両日にかけて行ったイベントで、親子等で気軽に木材と親しめるように木工教室や木っ端・ドンコロ市などの様々なコーナーを設けました。

大型木製遊具・木製クラフト・住宅の木質内装展示 子ども達が実際に乗って遊べる大型遊具を始め、クラフトや住宅用内装材の展示を行いました。

間伐材利活用展

ガーデニングやエクステリア製品、パネルなどの展示により、間伐の重要性や間伐材の活用法を紹介しました。

第5回北海道親子日曜大工教室（7月29～30日）

親子でトドマツ間伐材を使用した木製ベンチや花台などを製作して頂きました。

木工・塗装教室（8月1日）

木製ベンチを製作した後、塗装を行い、家庭でのメンテナンスの重要性や方法を紹介しました。

第8回北海道こども木工作品コンクール

北海道こども木工作品コンクール

今年で第8回目を迎えたこのコンクールは、木工工

作を通じて木に触れることによって、その良さに対する理解を深めるとともに、創作意欲や制作技術の向上を図ることを目的としています。

部門は、木工作品個人と団体、レリーフ作品個人の3部門に分かれており、それぞれの部門の小学生、中学生ごとに金賞1点、銀賞1点、銅賞1点、奨励賞数点を選出します。さらに六つの金賞のうち、各部門ごとに一点ずつを北海道知事賞とし、受賞者には賞状が授与されます。

審査は北海道立旭川美術館の佐藤武館長を委員長とする6名で構成された審査委員会にて行い、基準は次のとおりです。

木の持ち味や彫刻板の特長を生かし、自分で新しく考え、作り出した作品であること。

実生活に役立ったり、デザインが優れた作品であること。

木工技術が優秀な作品であること。

今年は全道の小中学生から寄せられた17校159点の中から、それぞれの賞を選出しました。中学校の木工作品は、全体的に木工技術のレベルが高いものが多く見られました。特に知事賞を受賞した木工作品団体・中学校の部 納谷誠さんほか3名の作品は、技術と丁寧な仕上げが高く評価されました。また、木工作品個人・小学生の部で知事賞を受賞した中津川瞳さんは、子どもらしい豊かな発想と松かさなどの素材を上手く組み合わせた点が評価されました。レリーフ作品部門では接着層が色づけされたアート彫刻板の特徴を生かした表情豊かな作品が多く、知事賞を受賞したレリーフ作品・中学校の部 永山航太郎さんの作品はコントラストの美しさと高い彫刻技術が評価されました。

林産試験場ではこれからも様々な活動を通じて、より多くの方に木材の良さをご理解頂き、需要拡大につながるよう努めます。最後になりましたが、協賛、後援頂いた関係各位に厚くお礼申し上げます。

木のグランドフェアと北海道こども木工作品コンクール受賞作品の紹介



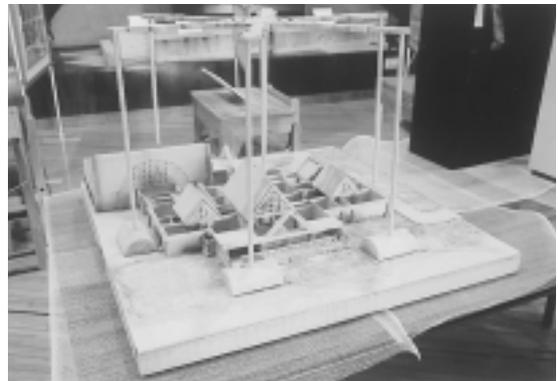
木工作品個人・小学校 知事賞
「森のチョコレートパフェ」
佐呂間町立仁倉小学校5年 中津川瞳



木工作品個人・中学校 金賞
「トライアングルツール」
札幌市立稲穂中学校3年 横井崇人



木工作品団体・中学校 知事賞
「音楽会指揮台(譜面台付き)」
札幌市立稲穂中学校3年 納谷誠ほか3名



木工作品団体・小学校 金賞
「ぼくらの学校」
置戸町立勝山小学校5,6年 川脇啓太ほか7名



レリーフ作品・小学校 金賞
「ふな」
中標津町立若竹小学校3年 稲田壘



レリーフ作品・中学校 知事賞
「KASAGO 水の中の派手魚」
札幌市立北野中学校2年 永山航太郎

(林産試験場 普及課)